



移動学習は
出発は大雨
現地は快晴
徳島県へ

6月21日(火)、朝の出発時は大雨で、「今年の移動学習は苦労するな」と思いきや、徳島市に入り最初の『藍染工芸館』に入るときは強い日差しが天気

藍染工芸館・眉山を堪能

「あれが鳴門の橋でねー」と徳島を一望

となり、大汗をかき「ちゅーねー」などと真剣に聞きながらの移動学習に入り、また、藍染工場での素晴らしい作品を見せて

いただき感激していただきました。

染め物の面白い物を済ませた後は徳島市内での食事を堪能し、次の眉山頂上を目指しました。

バスを降りた後の階段もきつかったけれど、みんな元気に頂上へ登りつめ、徳島市内の一望にため息を漏らしながら、遠くは「あれが鳴門の橋でねー」と、雨

伝統工芸・阿波藍の全てが解る工芸館



世界三大奇勝と言われている阿波の土柱

が降っていたら見えない展望を堪能しました。帰路には、多少時間の余裕ができ阿波PAから近いこともあり、当初予定をしていなかった「土柱」見学を行いました。蒸し暑い中、皆さん頑張ってお疲れ様でした。来年は高知県を学習地としますので、皆さん良いところがあれば教えてください。(寄稿者・福船 田所秀二)

入交会長の挨拶



2016年9月27日(火)

諸先輩方の祭典、岩村敬老会が盛大に開催されました。前日の雨模様の天候が心配されましたが、当日は暑くもなく寒くもなくの空模様でありました。

社協の委員さんたちに早くから集まっていただき会場設営に取り掛かっていると、敬老会出席予定の方が来られて少し慌てましたが、別室で待機してもらって準備を続けました。委員の方達のお陰で10時30分には会場設営も完了して、ほどなくすると参加者や来賓の方々で、受

大盛況の岩村敬老会

で黙とうをささげました。

そして来賓祝辞は、橋詰南国市長、西岡南国市議会議長より「岩村地区は住民が一体となって敬老会、七夕まつり、ふれあ

した。福船の内村弘さんの乾杯の音頭で食事歓談がスタートしアトラクションプログラムに移るころには早くも赤ら顔になって参加者もみかけました。



岩わかばの体操



3B体操岩村チーム



岩村有志のかくし芸

付は大混乱となりました。開会予定の11時30分丁度司会、進行役の包末部落、耕崎眞理子さんの発声で敬老会がスタートしました。まず、島崎公民館長の「開会の言葉」に続き入交社協会長挨拶とすすみ、昨年10月から1年間に16名の亡くなられた方々に起立姿勢

い祭り等みんなで精力的に取り組んでいる」とのお褒めの言葉を頂戴しました。司会者の巧みな進行でプログラムは進みあけの保育園児の元気はつらつな踊りには目を見張り、孫を見つけると大きく感動をし目頭を押さえるおじいちゃん、おばあちゃん達も見かけま

今年の出し物は舞踊が3曲と若葉グループによる3B体操、元吉明さんによる「歌謡漫談」、ここ数年人気が定着しつつある岩村有志によるおどり「人生いろいろ」は驚きと笑いを誘っていました。アトラクションのトリは藤本明子さんで舞踊「人生一路」で締めくくっていただきました。

このあと、大抽選会が行われ来賓も含めて全員に商品が手渡され笑顔の散会となり玄閑で見送りをすると、全員、大満足顔で帰途につかれました。

最後となりましたがスタッフの皆さんお疲れ様でした。8月暑いころの夜間打ち合わせ会議、朝早くからの会場設営、紅白幕の取り付け、テーブル上のかわいい花飾り等細やかに気を配って頂き誠にありがとうございました。おかげさまで岩村敬老会は成功裏に終わることが出来たとお礼申し上げます。ここよりお礼申し上げます。(岩村社会福祉協議会 会長 入交 満)